

精細胞腫とセルトリ細胞腫の鑑別

topics.vol.29

鳥取大学農学部共同獣医学科
獣医臨床検査学教育研究分野
准教授 杉山 晶彦

今回は、犬において比較的高頻度に発生する

精巣腫瘍である

精細胞腫 (セミノーマ)とセルトリ細胞腫の

病理組織学的・細胞学的鑑別所見に関して解説します

精巣

曲精細管

精細胞 (生殖細胞)

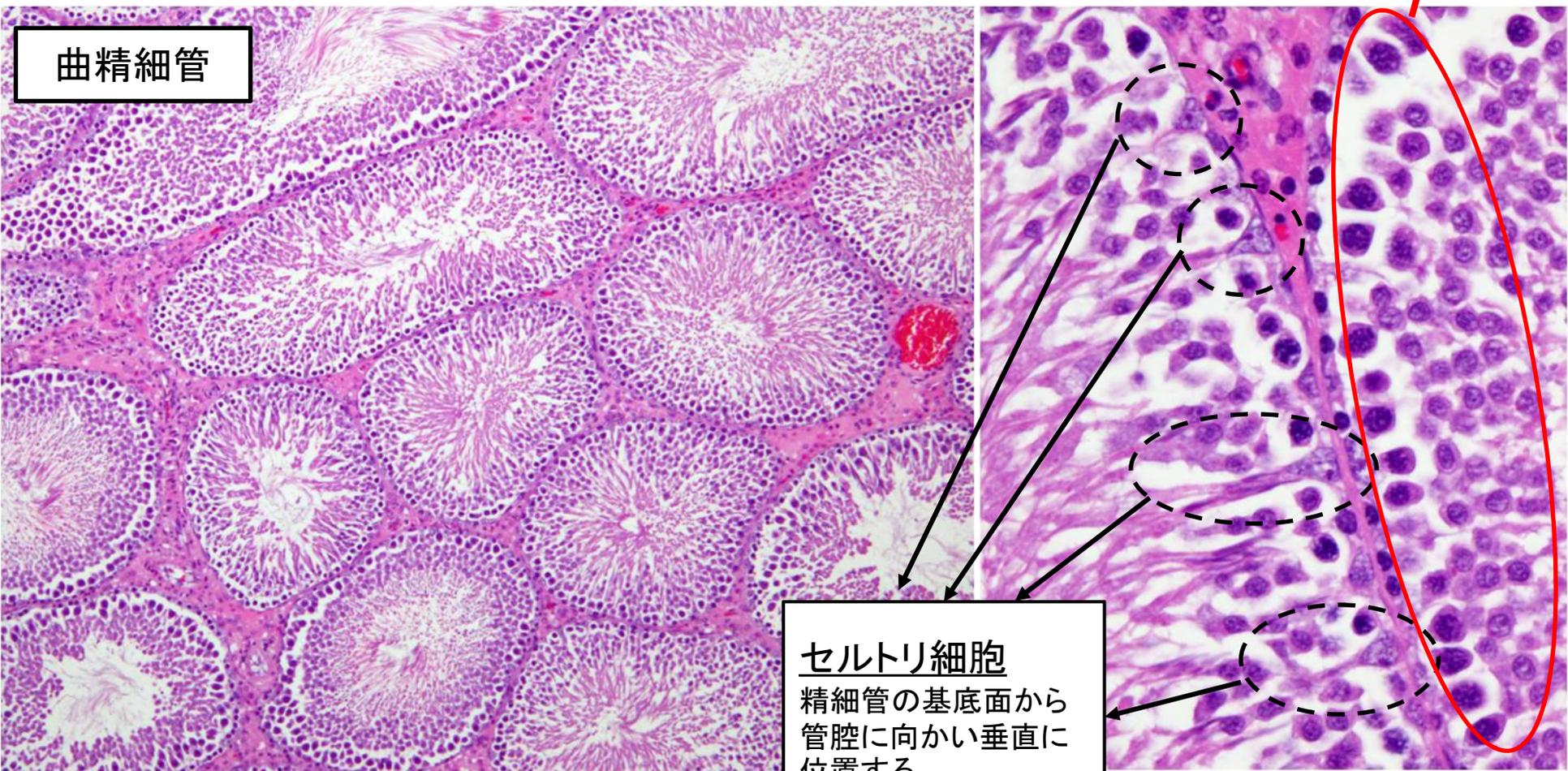
セルトリ細胞 (支持細胞)

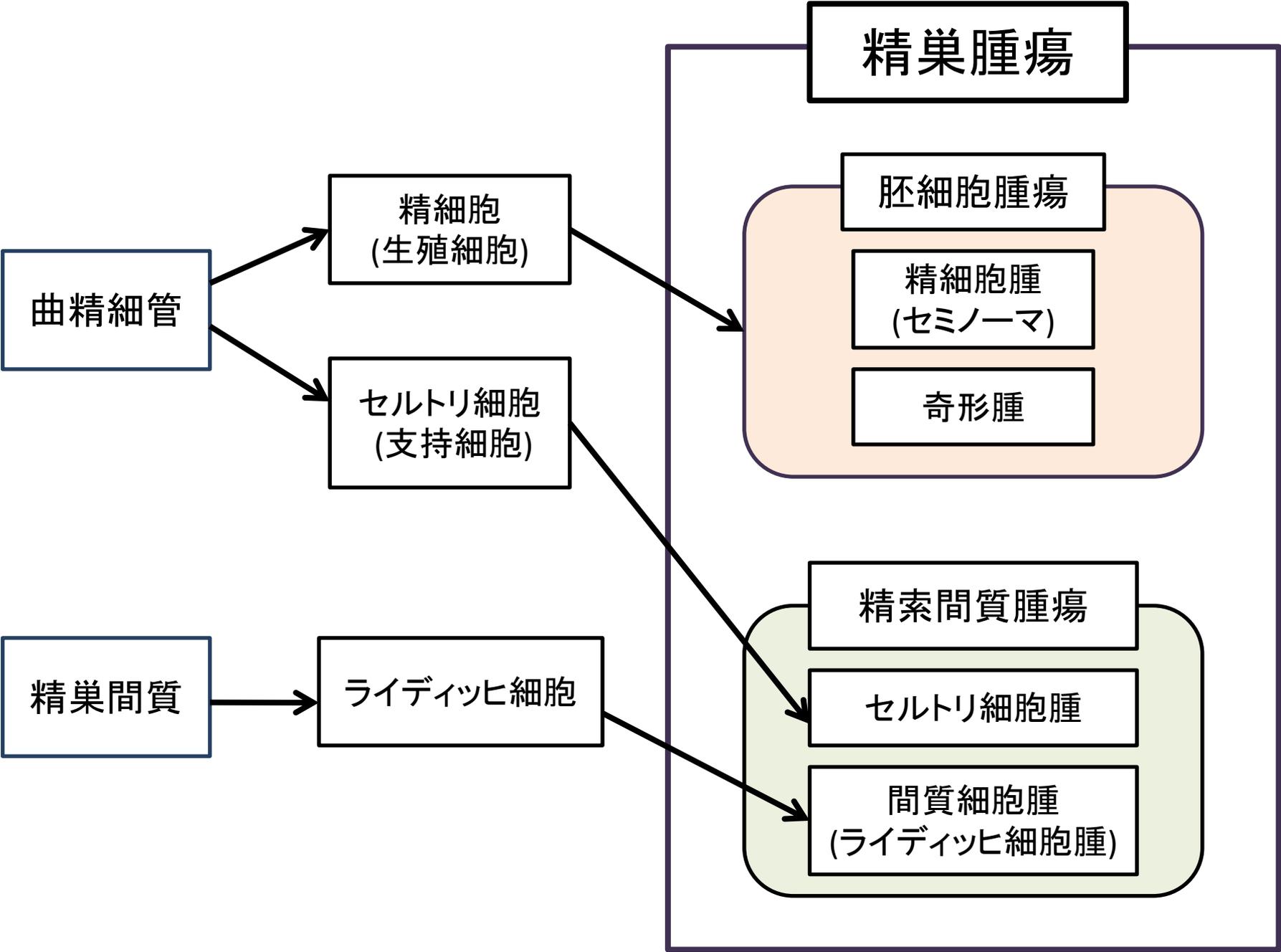
精細胞

曲精細管

セルトリ細胞

精細管の基底面から
管腔に向かい垂直に
位置する





精巣腫瘍

胚細胞腫瘍

精細胞腫
(セミノーマ)

奇形腫

精索間質腫瘍

セルトリ細胞腫

間質細胞腫
(ライディツヒ細胞腫)

曲精細管

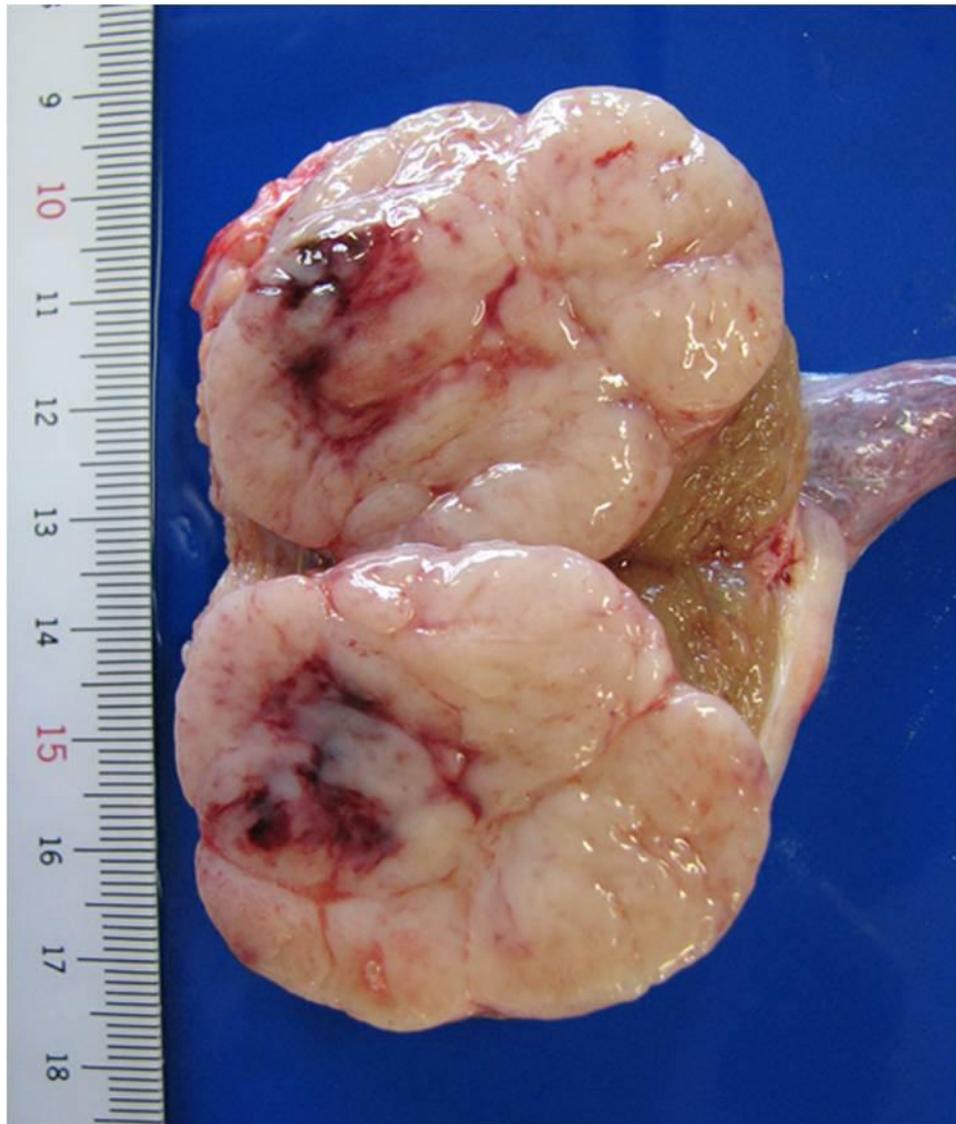
精細胞
(生殖細胞)

セルトリ細胞
(支持細胞)

精巣間質

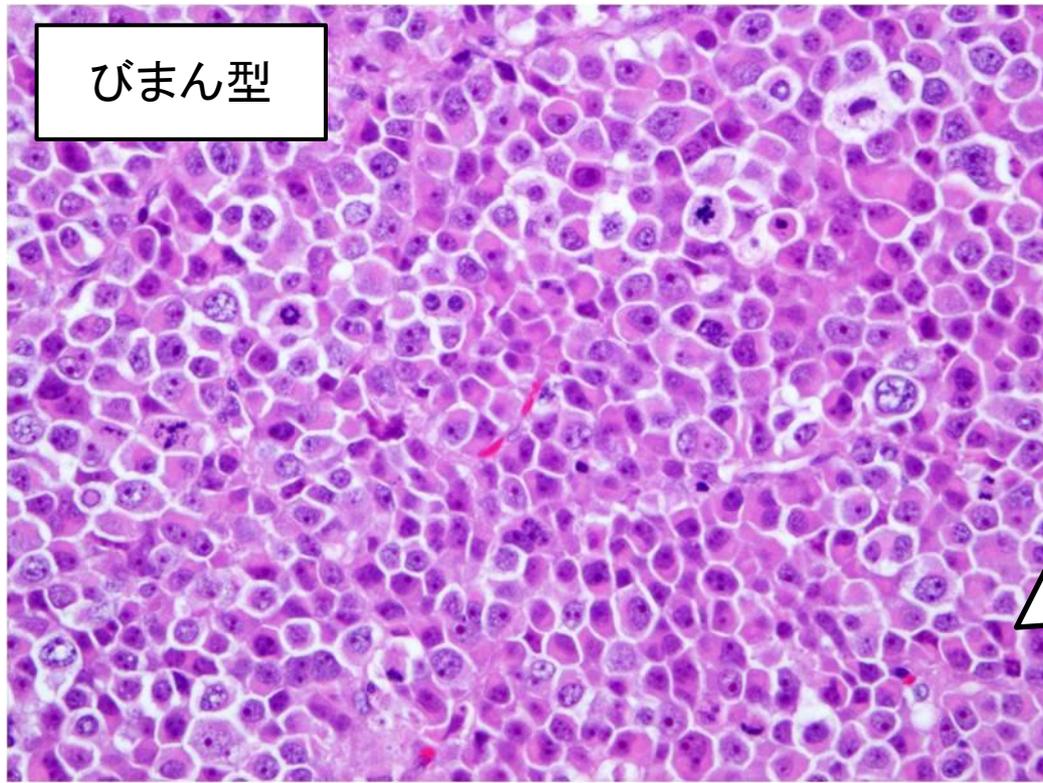
ライディツヒ細胞

精細胞腫 (セミノーマ)



精細胞腫 (セミノーマ)の病理組織学的特徴

管内型	<ul style="list-style-type: none">・精細管内において既存の精上皮が腫瘍細胞によって置換・腫瘍細胞の増殖は精細管内にとどまり、管壁構造は維持される
びまん型	<ul style="list-style-type: none">・管内型が進展したもの・精細管内外において腫瘍細胞は増殖し、管壁構造は破壊される



びまん型

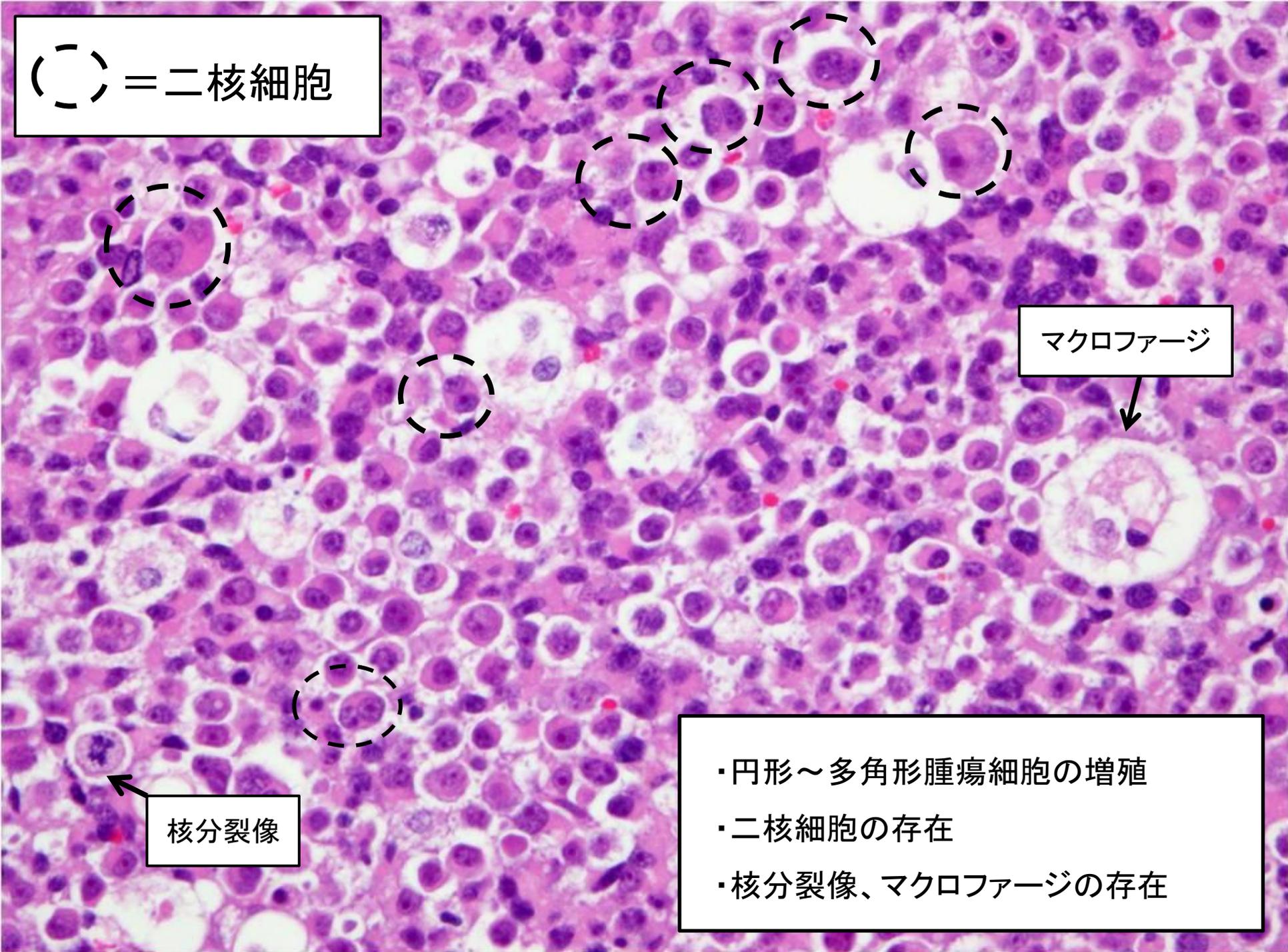
- ・多角形～円形の腫瘍細胞がびまん性、シート状に増殖
- ・曲精細管構造は認められない
- ・二核細胞、多核細胞の出現

() = 二核細胞

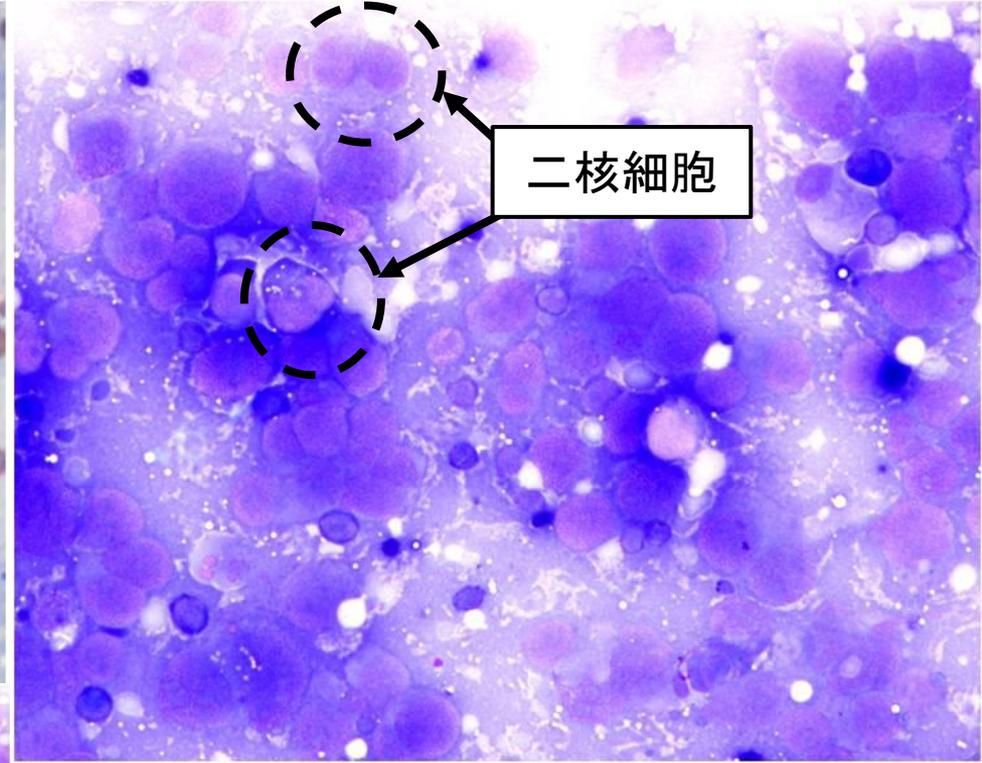
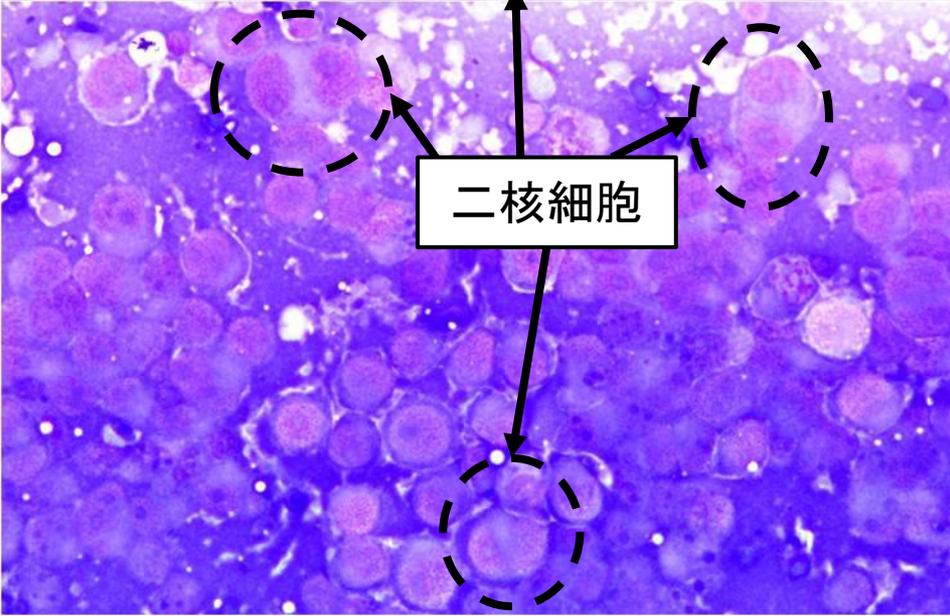
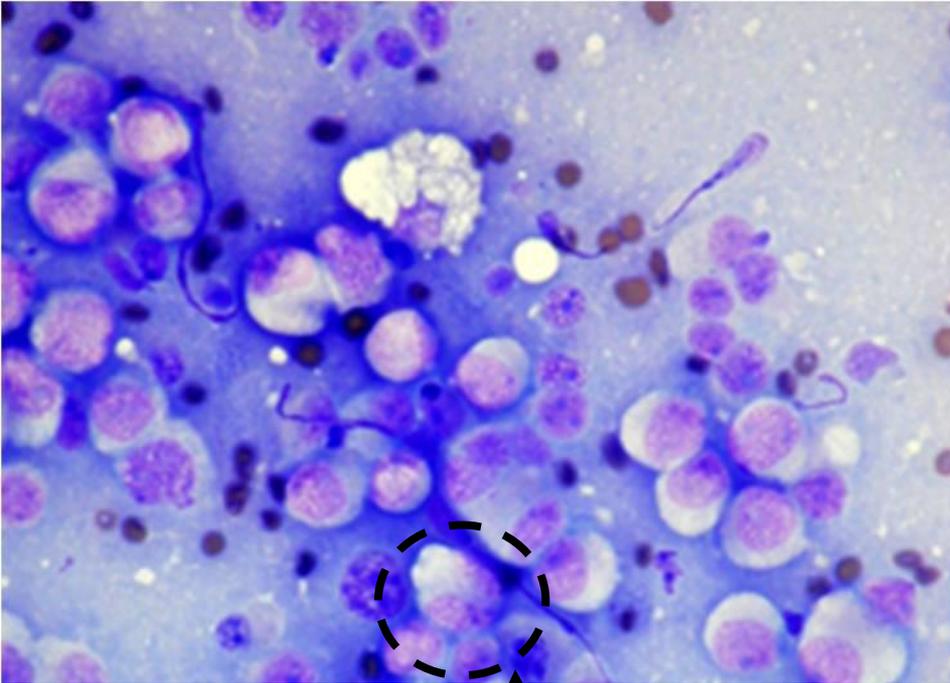
マクロファージ

核分裂像

- ・円形～多角形腫瘍細胞の増殖
- ・二核細胞の存在
- ・核分裂像、マクロファージの存在



精細胞腫 細胞学的特徴



- ・腫瘍細胞の形状: 円形～多角形
- ・二核細胞、多核細胞の出現
- ・細胞接着性は乏しい
- ・核小体の明瞭化

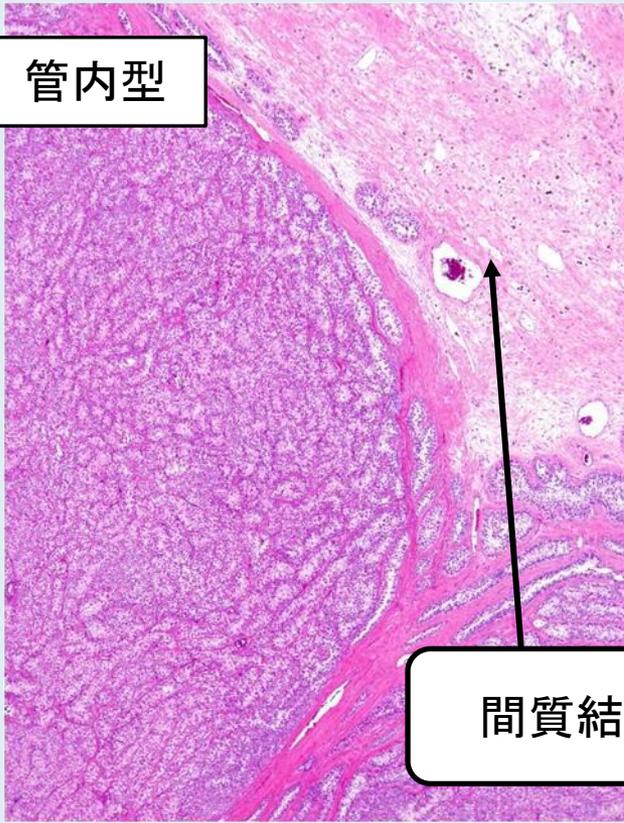
セルトリ細胞腫の病理組織学的特徴

管内型	・腫瘍細胞の増殖が既存の精細管内に限局
びまん型	・管内型が進展 ・腫瘍細胞の増殖は精細管を破壊し、管外に浸潤

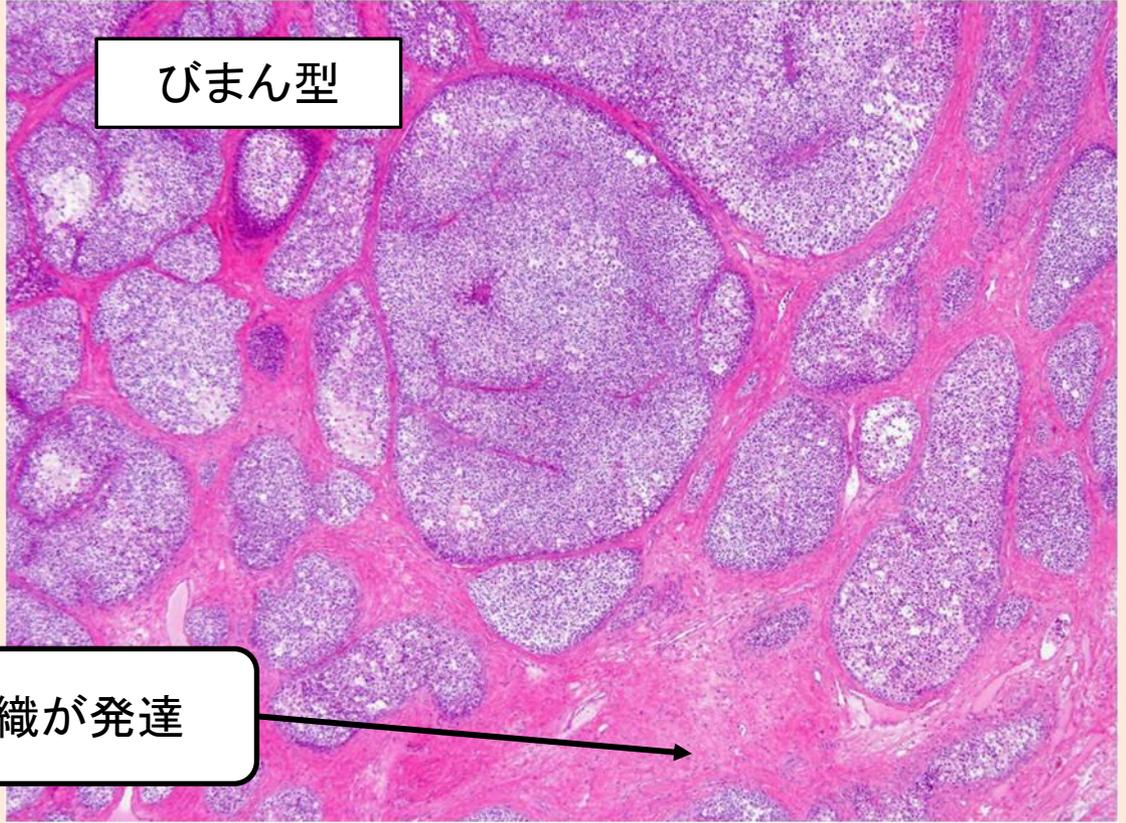
悪性の挙動と関連性あり

➡ いずれの型でも 間質結合組織が発達 = 腫瘍実質は硬結感を有する

管内型

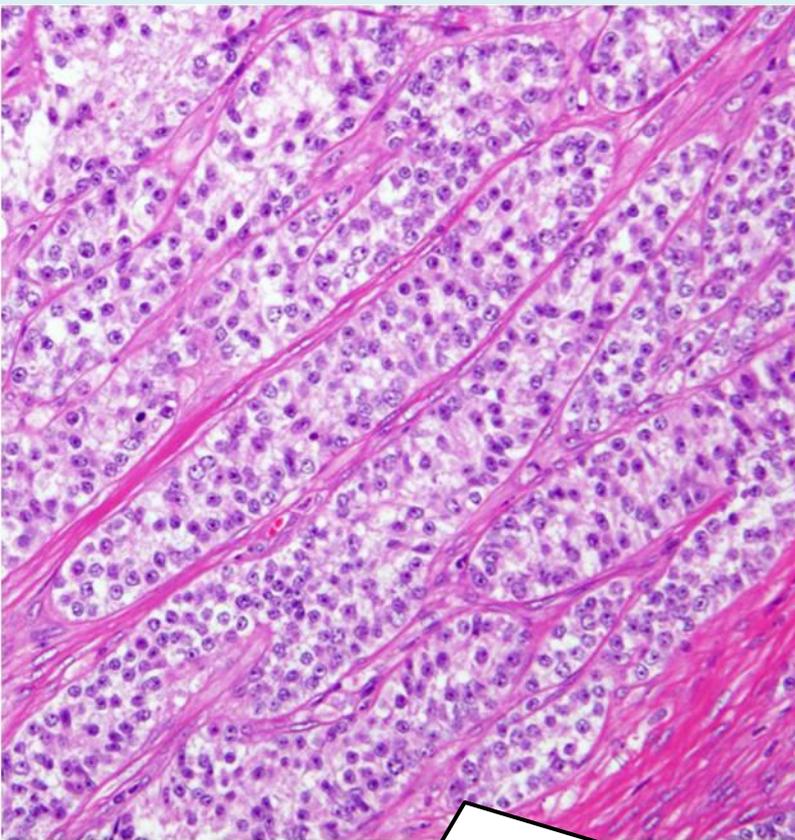


びまん型



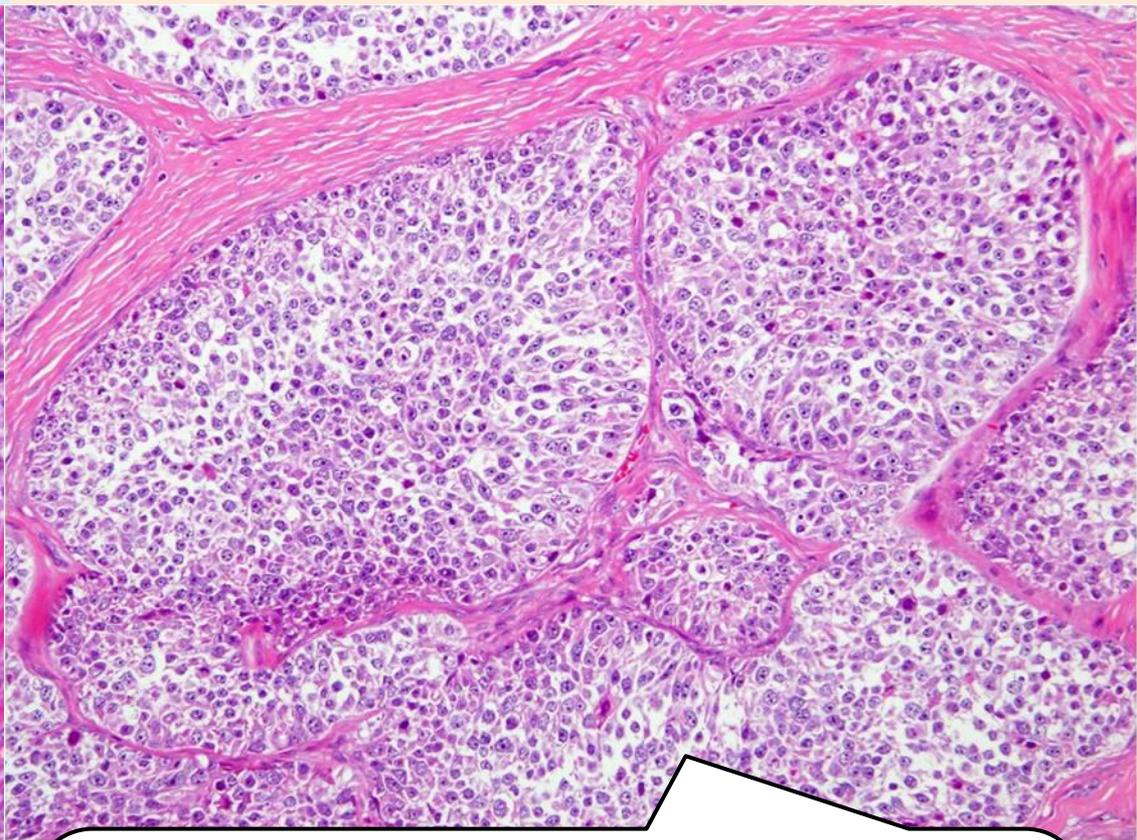
間質結合組織が発達

管内型



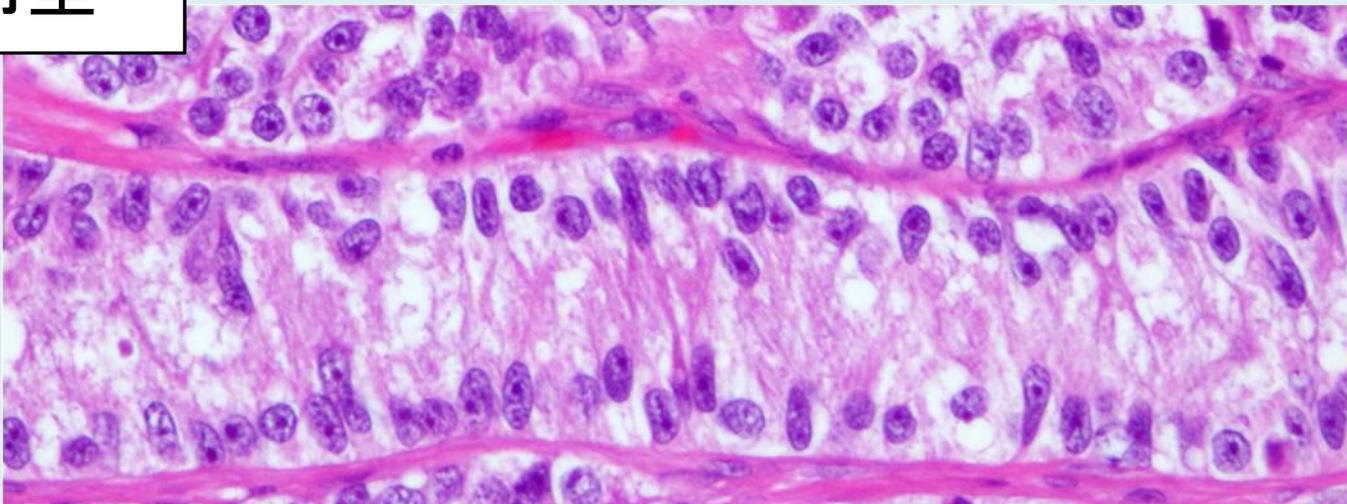
曲精細管内で腫瘍細胞が
増殖

びまん型

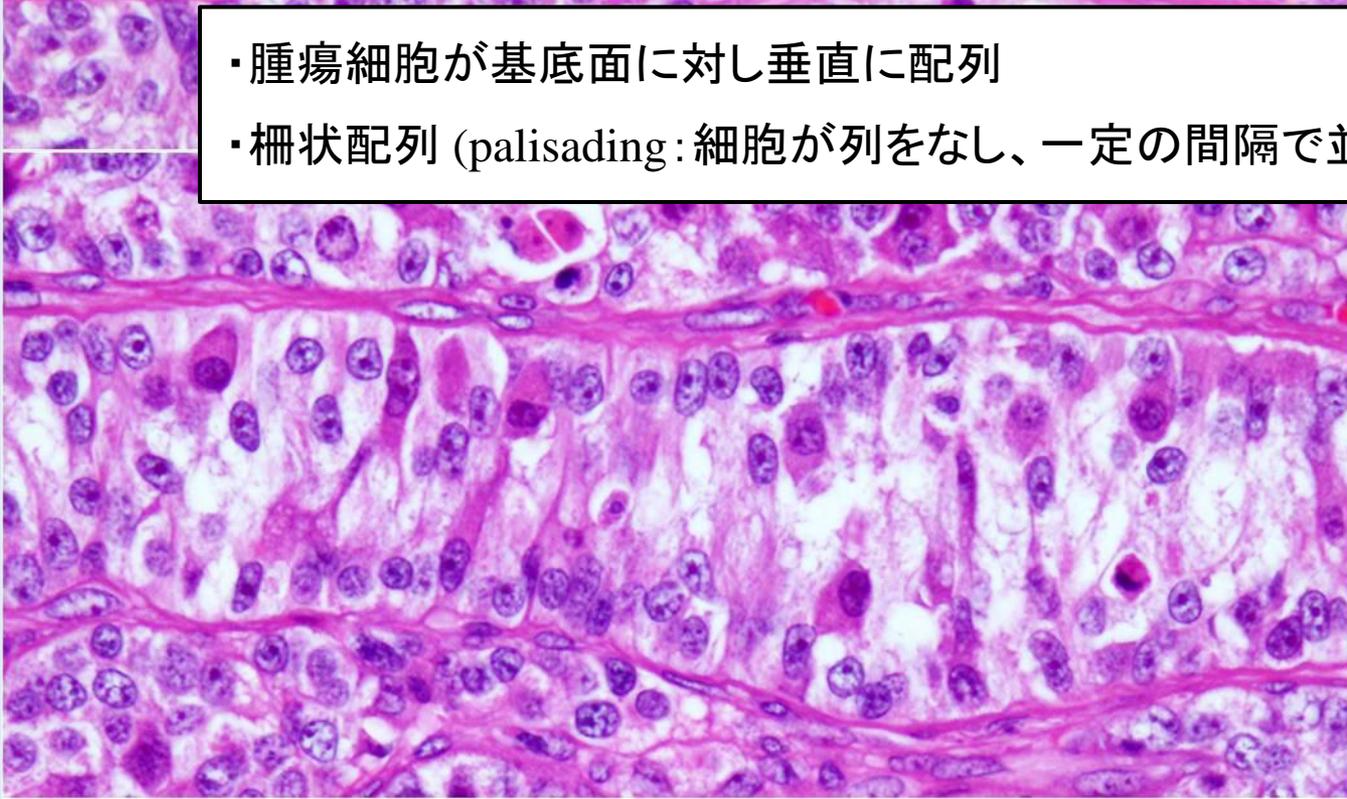


- ・腫瘍細胞がびまん性に増殖し不規則な小葉を形成
- ・曲精細管構造は認められない

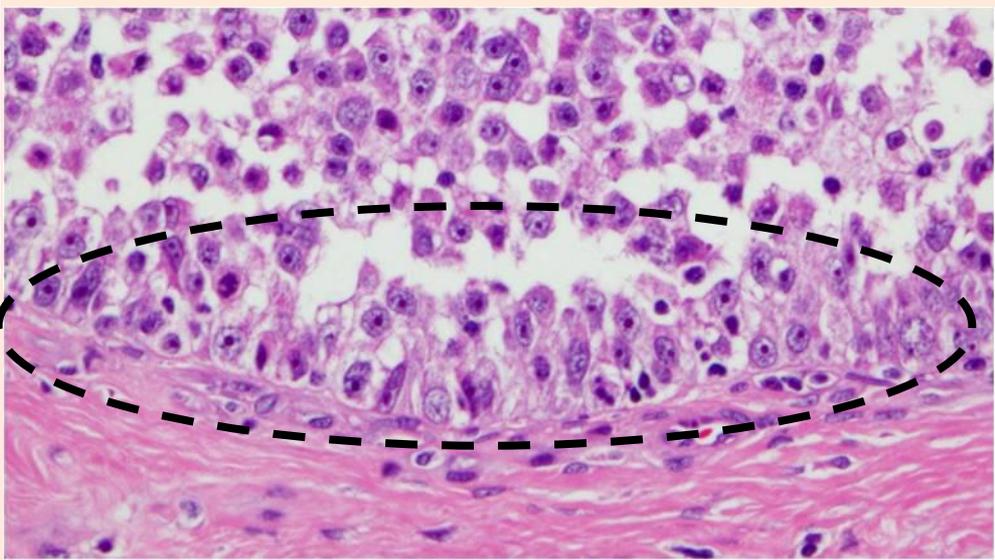
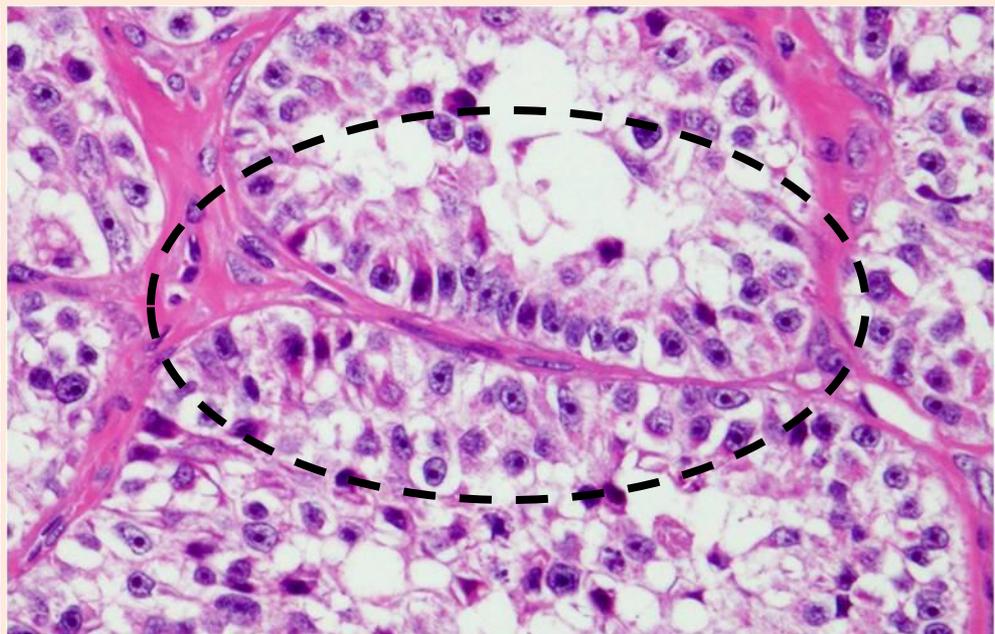
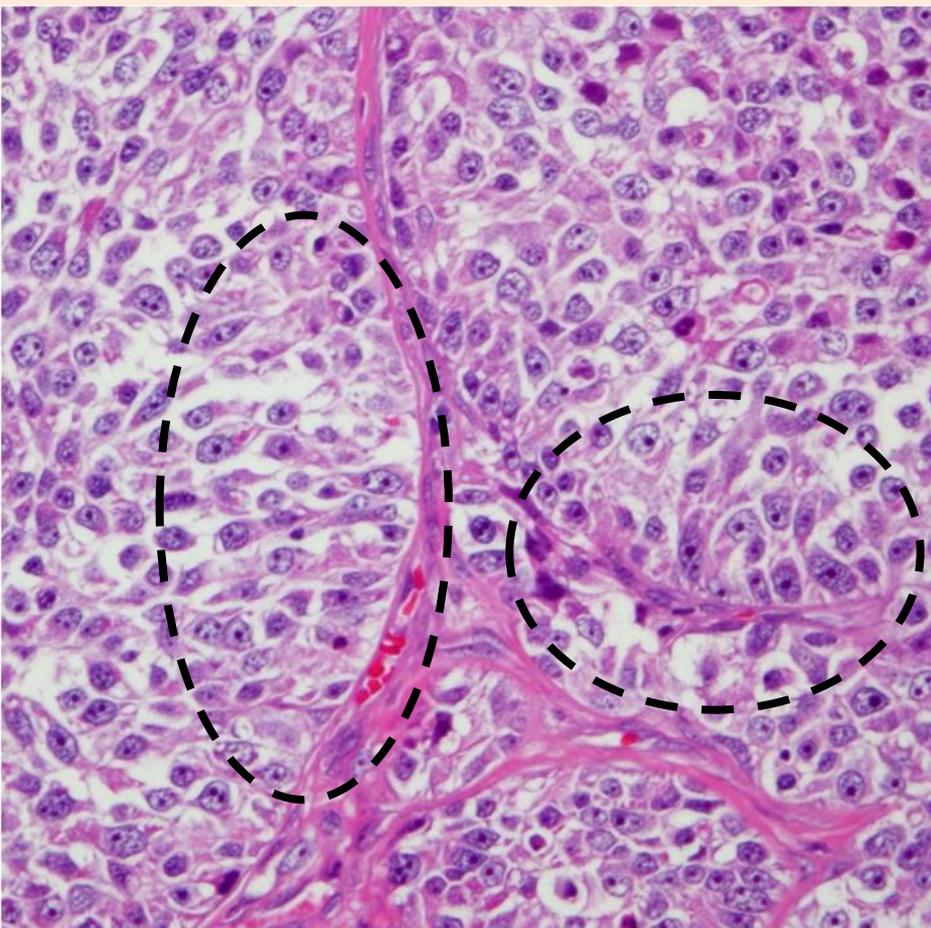
管内型



- ・腫瘍細胞が基底面に対し垂直に配列
- ・柵状配列 (palisading: 細胞が列をなし、一定の間隔で並んだ状態)

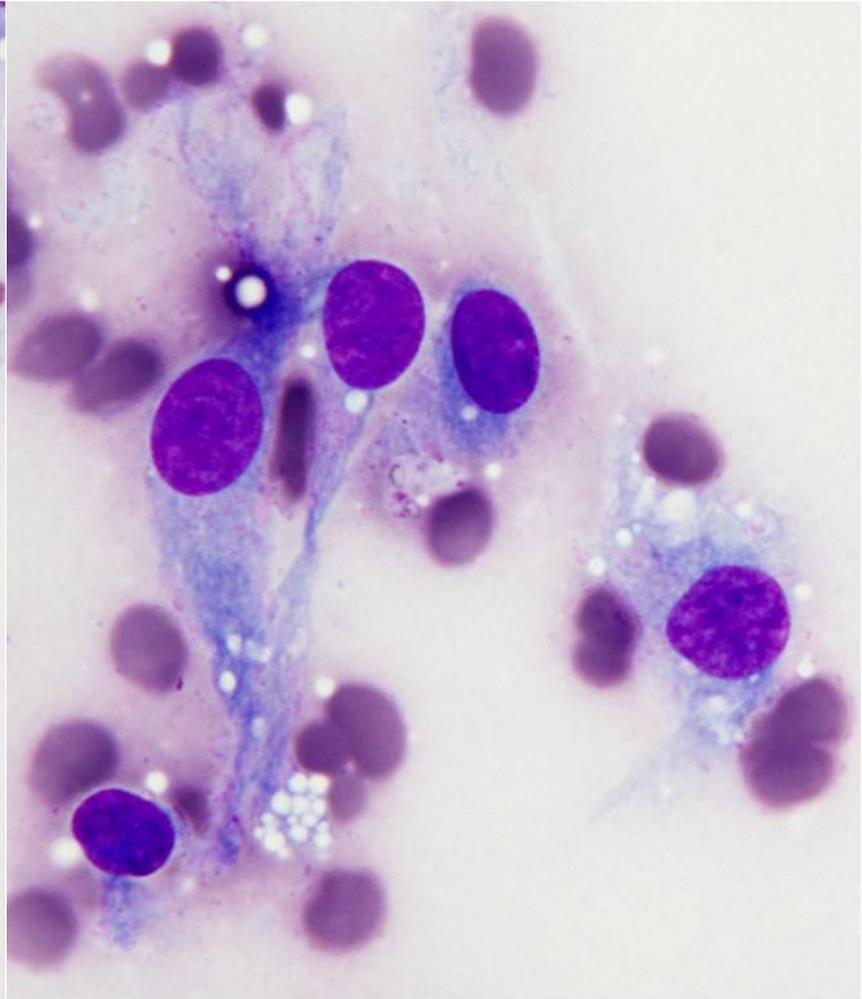
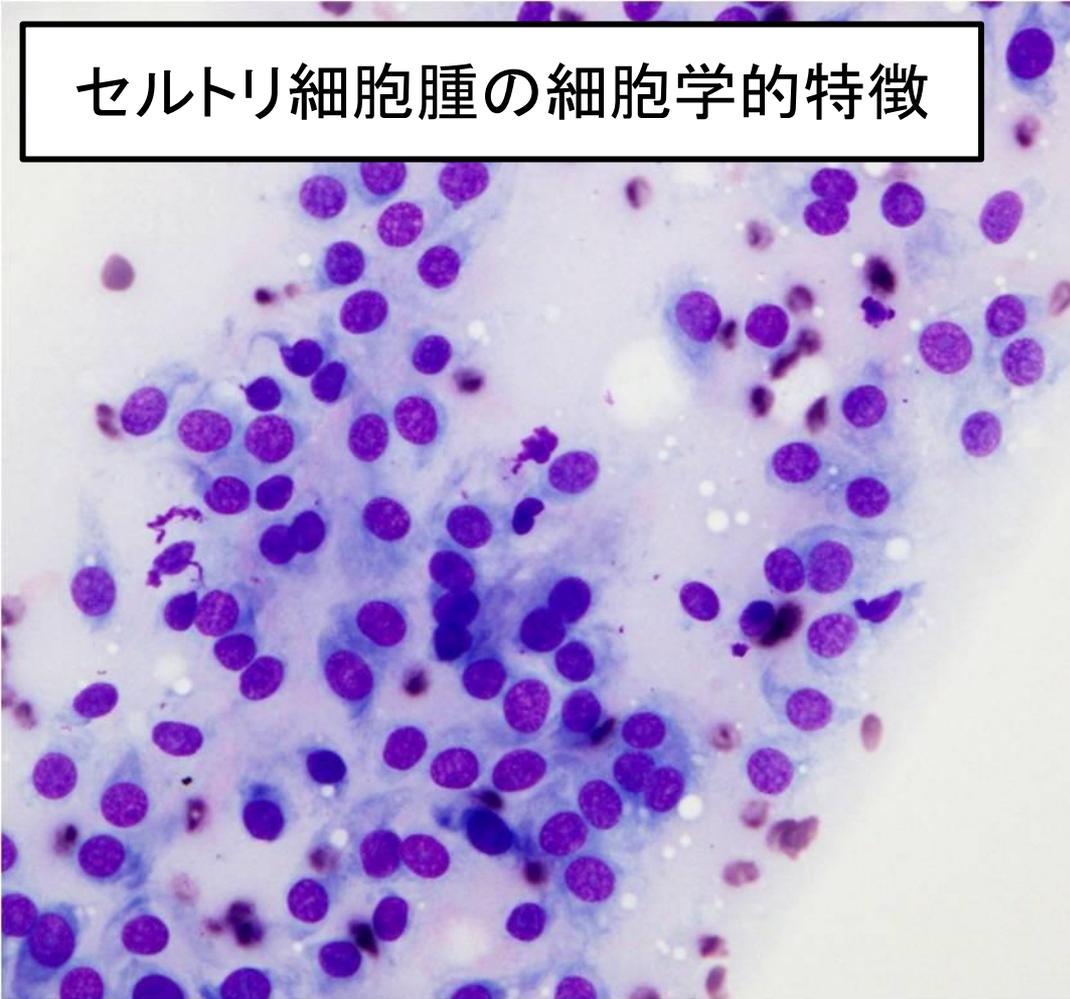


びまん型

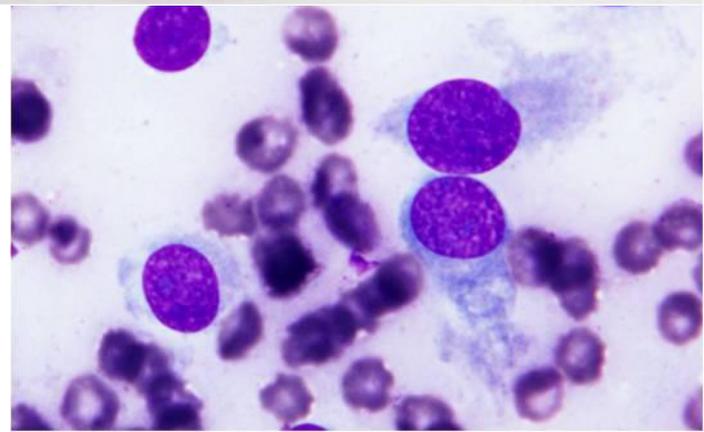


- ・腫瘍細胞が基底膜に対し垂直に配列
- ・柵状配列 (palisading)

セルトリ細胞腫の細胞学的特徴



- ・腫瘍細胞の形状: 紡錘形
- ・細胞接着性は乏しい



犬精細胞腫とセルトリ細胞腫の下記の病理組織学的・細胞学的所見において鑑別が可能であるといえます

	精細胞腫	セルトリ細胞腫
腫瘍細胞の形状	円形～多角形	紡錘形
腫瘍間質	未発達	発達 = 腫瘍実質は硬結感を有する